

## 松江市立古志原小学校 心に残る文化財子ども塾

5月14日(木)には、松江市立古志原小学校に伺いました。6年生103名の参加です。2校時に1クラス、3校時には2クラス合同で行いました。テーマは、『奈良の大仏』の巨大さと、込められた思い。体験活動として、「奈良の大仏の実物大パネル」を組み立てました。パネルの部品は1辺1m 四方のシート188枚。台座の部分から上へ上へとパネルは積み上がり、体育館内にみごと立派な大仏さまが完成しました。大仏についての質問もどんどん飛び出し、強く関心を持って学習に取り組んでくれました。こういう活動を通し、歴史や文化に興味を持ってくれると嬉しいですね。



▲ 大仏パネル組み立ての事前説明です。



▲ まだバラバラ。何が何だか分かりません。



▲ ようやく完成！その巨大さを体感。



▲ 日直さんが筆を持って大仏の開眼<sup>かいげん</sup>です。

### 【学習後の感想】

- ・大仏を組み立てて、手や目や鼻の大きさを計ったりして大仏の大きさを計ってみてとても大きかったのでびっくりしました。
- ・手の形は意味があって右手が施無畏印で、左手が与願印という意味がわかりました。
- ・特に印象に残っていることは大仏様はハスの花にのっていることと、昔王子だったことです。耳がたれさがっていることは王子だったことと関係があることがわかりました。
- ・初めて大仏の実際の大きさを見てみて、とても大きかったです。ぜひ本物を見に行きたいです。

松江市立古志原小学校6年生の皆さん、先生方、ありがとうございました！